

“京都をつなぐ無形文化遺産”

京の地蔵盆

～地域と世代をつなぐまちの伝統行事～

復
刻

手づくりで
じぞう盆しましよう



めぐらし

手づくりで地蔵盆じましょり

- 1 町内に吊るす大行燈づくり 10
- 2 お父さんといっしょに小さな行燈づくり 8
- 3 お地蔵さまにお化粧してあげましょり 6
- 4 場所を決めたら飾りつけましょり 4

(10) (8) (6) (4)

発行日：平成27年3月

京都をつなぐ無形文化遺産普及啓発実行委員会
(事務局) 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財
保護課

Tel 604-8006 京都市中京区河原町通御池下る
下丸屋町394 Y・J・ビル2階

TEL 075-366-1498

FAX

075-213-3366

企画・監修
協力

京都府
山路興造(京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」)
審査会委員、京都市文化財保護審議会委員)

太田達(京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」)
審査会委員、「公財」有斐斎弘道館代表理事)

松浦俊海(京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」)
審査会委員、千生寺賀主)

(イラスト)

松浦忠平(イラストレーター)

(写真)

神谷潔(京都をつなぐ無形文化遺産「地蔵盆」)
審査会委員、写真家)

デザイン
集

株式会社シーアイ・ディー・アイ

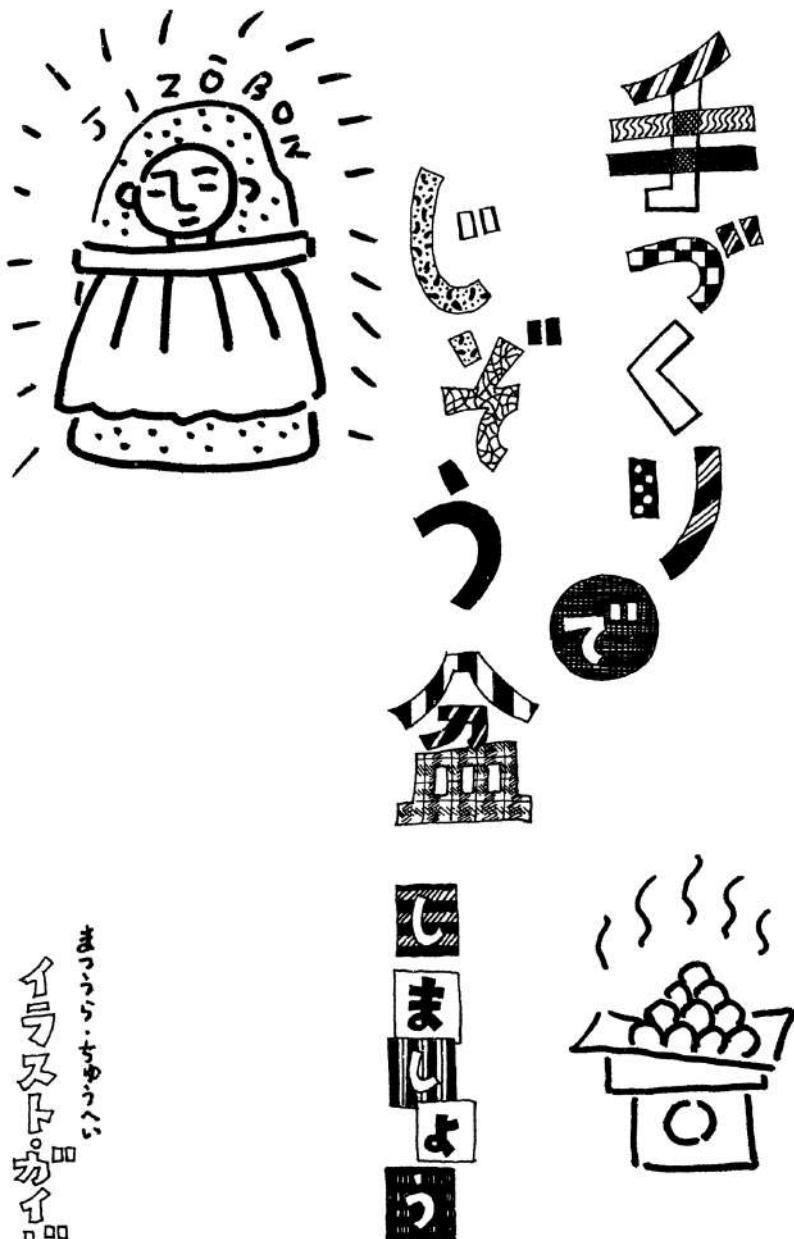
印刷
製本

大平年春
有限会社ダイヤ印刷

平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



イラスト・かわい

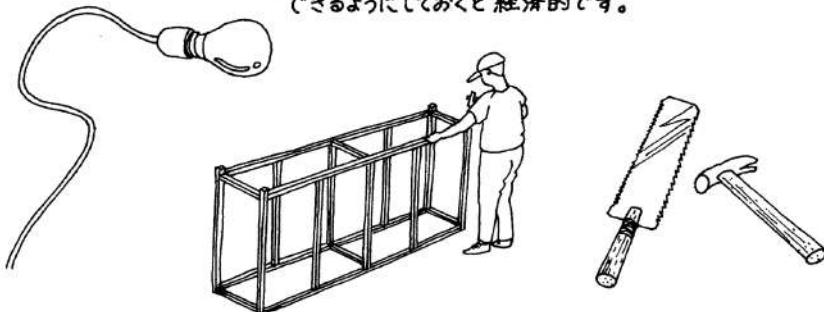


この「手づくりでじぞう盆しましょう」は、『地蔵盆の手帖』（編著・画：松浦忠平／
発行：壬生寺／昭和61年）の一部を、許可を得て掲載したものである。

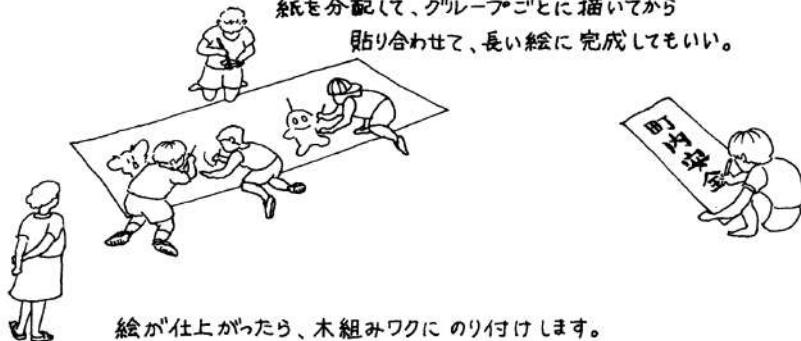
1

町内に吊るす大行燈づくり

行燈の大きさは町内によってちがうようです。
木製骨組みのもので、1間半(270cm)長さ×巾幅5~60cm
×高さ7~90cm位がふつうのようです。後で「紙を囲む
ように貼り付けて仕上げるので「紙のサイズ」に見合った大きさにします。
毎年使うものなので、ボルト(ネジ)止めで組立て
できるようにしておくと経済的です。

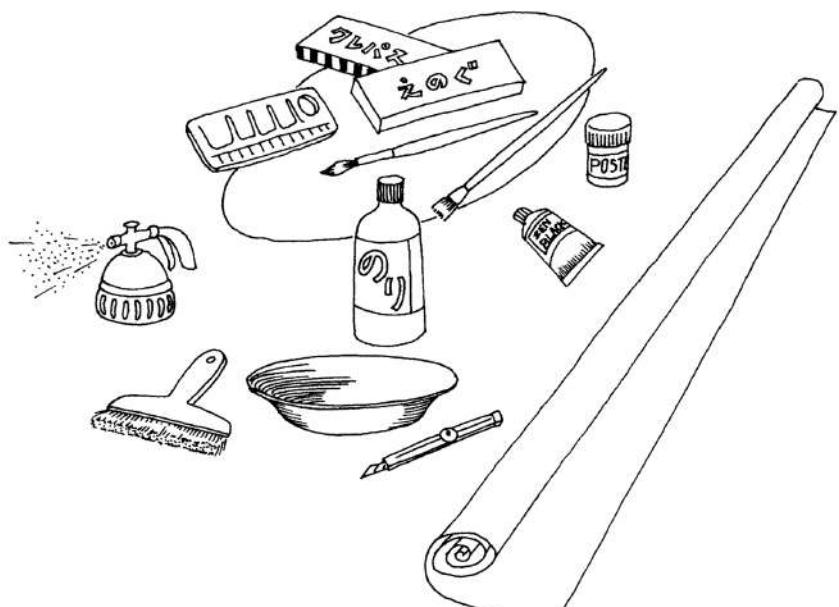


子どもたちに、好きなマンガのキャラクターなどを描いてもらおう。
えのぐやポスターカラーなどで色づけしますが、あらかじめ
エンピツなどいで形ヒトリして描くと良いのでは?また、
紙を分配して、グリーフェンごとに描いてから
貼り合わせて、長い絵に完成してもいい。



絵が仕上がったら、木組みワクにのり付けします。
場合によっては押しピンやホッチキスで止めてもいい。
タ立ちにそなえてビニールを上からかけておくと安心です。

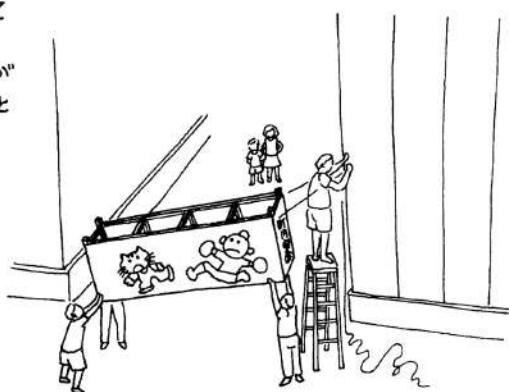




材料は身の回りにあるもので“いいのです。
ただ、紙は大きくて厚目のものが“重るので”
画材店で“求めて下さい。



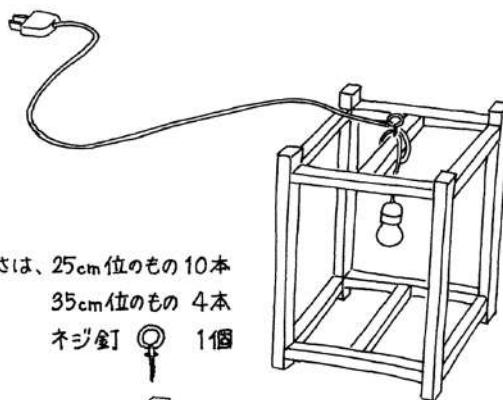
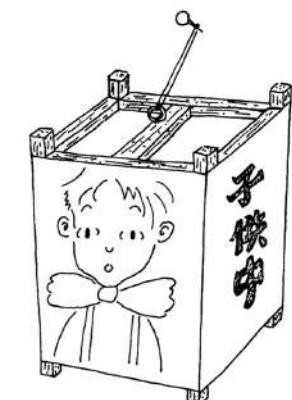
町内の行燈は、通りの角地などに
吊るすものですが、交通事情もあって
できない所があります。
上図のように台の上にのせている町内が
ありました。これはグッド・アイデアだと
思いました。



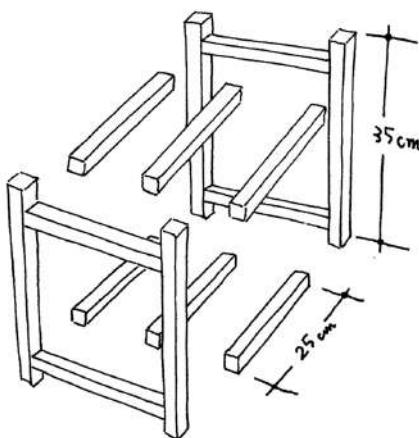
2

お父さんといっしょに小さな行燈づくり

この行燈は家の門口などに
掛けたてかざるものです。
昔はローソクを立て夜の明かりを
たのしんだものです。
火事の心配もあるので、豆球を
代用すれば"よい"でしょう。
いずれにしても、安全を心がけ
楽しみたいものです。



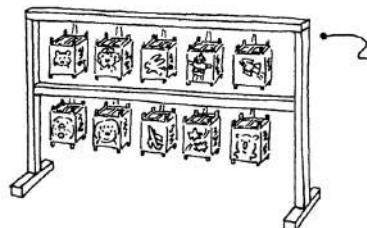
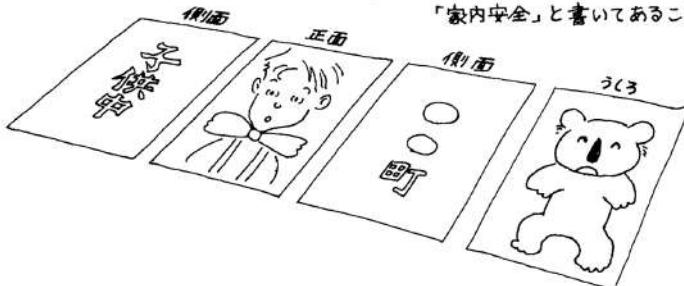
組み木の長さは、
25cm位のもの 10本
35cm位のもの 4本
ネジ釘 1個





1.5 ~ 2cm 角位の木

▼ 2側面には、子供中・町内名を入れるが、
「室内安全」と書いてあることもある。



めいめい出来上がったら持ちよって
こんなふうに吊り下げて飾ってもいい。
大きな町内用アンドンに、ひけをとらない
すばらしいものとなるでしょう。

3

お地蔵さまにお化粧してあげましょう

はじめに、お地蔵さまを水あらいします。がんこなヨゴ"レはタワシで落とします。あとは、よく乾かしてからお化粧をはじめます。



お化粧するといっても、新しいものはともかくたいてい、古い石地蔵は目や鼻の形さえも定かで無いことが多いものです。——顔から首、胸元にかけての部分に、白色で下地を塗りあげます。



使用する道具:
筆=太・細 各1本づ
えの具3色=白・黒・朱赤



使用するえの具は、水性のものを使って、いつでも水洗いでできるように、しておくと良いでしょう。

例 ● ポスター・カラー、不透明水彩えのぐ、グッッシュ、泥絵のぐ Etc.



まえた"れは、朱赤色の生地で作ります。上部にギャザーを入れて縫っていきますが、このギャザーの巾は、あまり細くなくても良いと思います。実際に、お地蔵さまの寸法をとって、すその長さが、あまり短かくなりすぎないように気を配れば"良い"と思います。



4 場所を決めたら飾りつけましょう

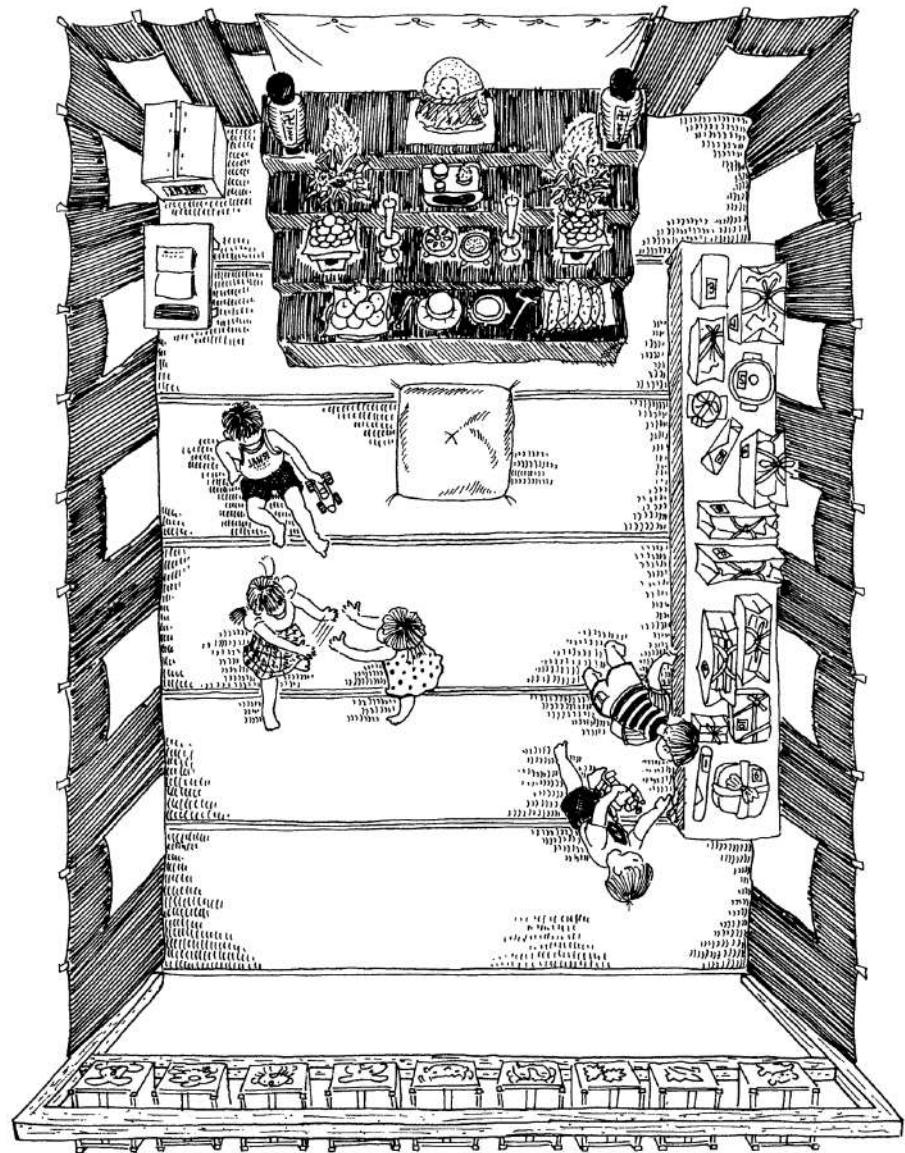
地蔵盆を行なう場所が決まると、まず初めにお地蔵さまを据える位置を定めて、そこへできれば三、四段位のひな段を作ります。ひな段には赤い毛・せんをしきます。

花やお供えものは、下図のようにお荘厳すればよいでしょう。お仏飯やお水、おもちなどは上段にお供えします。一般的には、その他、季節の果実もお供えします。また昔から町内のお年寄りなどが自宅で煮たいも・やか・ぼ・ち・やなどを自由に持ち寄って来るという、ほほえましい風景は変りません。

お荘嚴するために色々と道具が必要ですが、毎年少しづつ備えればよいと思います。また、福引用の品ものも、回りに飾って楽しい期待感を子どもたちと味わってみるのも良いのです。素朴な心の持ち寄りこそが一番何よりなのです。



手づくりでじそう益しましよう



楽しい地蔵盆の催しを考えよう イラスト・ガイド ●昔も今も

行事日程は三日間位ですが、近ごろは二日間という所が多いようです。

八月二十二日

朝七時～八時 飾りつけ(お供え・準備など)

あつとめ(僧侶による読経)

十一時
午前十時 おやつ

昼二時
三時

かにつけ 又は 金魚すくいなど
おやつ

夜七時

のどじまん大会

※所によって観光バスで、夜の夕涼み

二十三日

おやつ

朝十時
十一時

珠数まわし(百万遍)
西瓜わりなどのゲーム

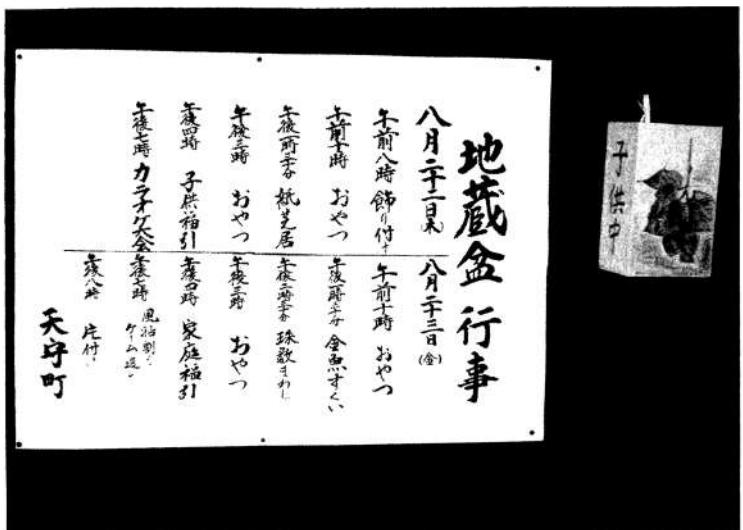
昼一時
三時

ママさん紙芝居・クイズなど

夜七時
五時

福引

天守町



※以上が標準的な行事内容です。

最近は、デパートでカニを売っています。
金魚すくいなども、みんなで楽しめる
人気のイベントがあります。



二十一日の朝、お坊さんに
おへどめを願います。でもね
子どもたちの心は、すでに
あやつは何かなる、やうにう。



朝十一時、いよいよあやつです。
これをもうひとつ、地蔵盆の
気分がグンともり上がるのです。

* 交通事情もあって、最近は盆おどりもできない町内がふえました。
代りにカラオケのどじまんが盛んなようですが、一寸淋しく思いました。



珠数まわし

大きな珠数を廻して、子どもたちが
なもあみだぶつを唱えながらすいすい
です。百万遍（ひやくまんべん）といつ
呼び名で親しくしていました。



輪投げゲーム

ハートやエンボシなどの文具品をひと
並べて、一人につづいて1品ずつ当たるまで
投げてもうって楽しく遊ぶものです。
また、一本の立ち木に投げる、ふつうの
輪投げゲームも面白いと思っています。

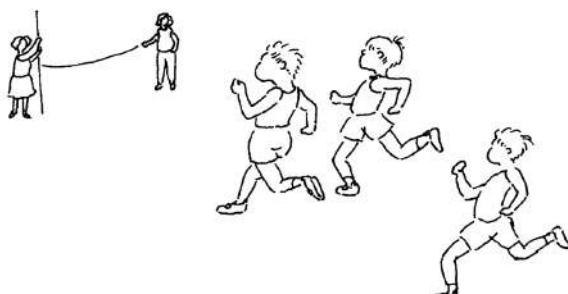


ママさん紙芝居

これはお母さんたちでやる紙芝居です。
クイズ紙芝居など、物語りもやります。
手づくりがあれば、借りて来てやっていく
といふも あります。

子ビッ子競走

ちよつとした広場でやります。
幅とび、ケンケン競走、石けりなど
いろいろあります。
勝っても負けても…もちろん
それなく「あやつ」のじほうびです。



すいか割り

これは、やってみると奥に面白いです。



矢投げゲーム

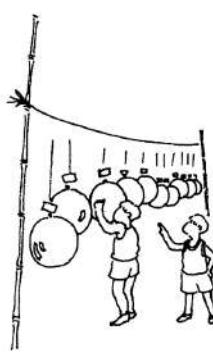
安全にさえ気を配れば、子供もたちは
とても喜びます。昔、吹き矢なんて
いうのもやっていましたよ。

「あやつ」に工夫して下さりね！



ふうせん福引

「ふじあろし」という福引方法で
昔は楽しみましたが。



カラフルなふうせん
を吊り下して、その先に
当り番号の入った封筒を付けて
おく。数人アツで取りに行かせて、
ゆっくりと選ばせてやるものです。

地蔵盆雑記

いろいろと行事のための準備には手間がかかります。手づくりで地蔵盆を、といった内容も実のところは昔からそうしたものであつたわけですが、近頃はデパートあたりで何もかもセットされていて、作るより買つたほうが良いのかも知れませんが、ちょうどパック旅行のような味けなさに似て物足らなく思います。ここに行事紹介を一例として並べてみましたが、これも物足らない内容となつたようですが、ひとつにでもなれば幸いです。また、お地蔵様に化粧を施す頁に關して町内によつては、彩色せずにそのまま据え置かれている所もあるので、それはそれで良いと思っています。

古くより日本の各地には粉掛け地蔵とか毛呂美地蔵などと呼ばれる様々のお地蔵様があつて、地蔵祭りの時に、米や麦の粉をお地蔵様に振り掛けたり、生のだんごを塗りつけたりした所もあつたそうです。おしゃいを塗つて化粧するという風習は、子ども達と遊ぶ」との好きなお地蔵様が一番喜ばれる事なのかも知れませんが。

□ 地蔵盆催事例

- ・おつとめ(読経)
- ・百万編(珠数まわし)
- ・金魚つり
- ・カニつり
- ・風船つり
- ・マンガ映画会
- ・人形劇
- ・のどじまんカラオケ大会)
- ・西瓜割り(運たたき)
- ・ふごおろし(福引の際に催す仕掛け)
- ・ローラーおろし(ふじの代用)に乗り物の玩具を使う)
- ・ふうせん福引
- ・矢投げゲーム
- ・輪投げゲーム
- ・チビッ子競走
- ・クイズ・ゲーム
- ・紙芝居

